

みずとみどり研究会  
設立30周年記念イベント  
～これからの活動～

2024年7月24日

みずとみどり研究会  
事務局長 佐山公一

# イベント開催までの経緯

多摩地域の東京都移管100周年事業

TAMAらいふ21にて当会前身の「湧水崖線研究会」が発足

その後、1994年に「みずとみどり研究会」として活動を開始

**設立30年に際し、今後の会について1年以上の期間を有して話し合いを行った。**

# 話し合い

・まだコロナ禍でもあり、全国各地にいる会員の声を聴くこともあるためZOOMでの開催をほぼ毎月実施した。

## 話し合いで見えてきた課題

- ・「湧水崖線研究会」の頃からの資料について
- ・事務所の維持や専従事務員人件費など運営費用の確保について
- ・新規会員の参入



# 課題解決に向けて ～イベントの開催～

開催日/ 2024年3月17日 (日)

《午前》 フィールドワーク/テーマ:国分寺崖線の緑地と湧水の保全をめぐって

ガイド/神谷博

時間/ 10:00～12:00 JR西国分寺駅 改札付近集合  
場所/ 国分寺市内①姿見の池、②真姿の池湧水群ほか

《午後》 フォーラム/テーマ:みみ研のこれまでとこれからの活動

時間/ 13:30～17:00  
会場/ 東京都立多摩図書館2階セミナールーム2

みずとみどり研究会



設立 30 周年記念イベント

～これからの活動を探る

- ◆日時 2024年3月17日(日)  
午前 湧水地点フィールドワーク 10時～  
午後 フォーラム 13時30分～  
夕方 懇親会 17時30分～
- ◆場所 午前の散策 姿見の池、真姿の池など国分寺市内  
午後のフォーラム 東京都立多摩図書館 2階セミナールーム2
- ◆参加費 無料
- ◆主催 みずとみどり研究会



真姿の池湧水(撮影:2010年)

当イベントは水・地域イノベーション財団の助成を受けて開催しています

# フィールドワーク

みみ研30周年フィールドワーク



行程 ( )  
①10:00  
⑥11:30

# フォーラム

## 第1部 テーマ；みずとみどり研究会の30年

4名による発表

## 第2部 テーマ；多摩の水と緑の保全回復ビジョン

ビジョンの説明と会場との意見交換

プログラム（午前 湧水地点フィールドワーク）

テーマ 国分寺崖線の緑地と湧水の保全をめぐる  
現地ルート・案内資料は別途配布

プログラム（午後 フォーラム）

全体テーマ みみ研のこれまでとこれからの活動

<b>全体進行</b>	戸根 恵子	
<b>開会挨拶</b>	星野 義延	みずとみどり研究会代表 東京農工大学農学部功績教員
<b>未発表</b>	宮藤 秀之	国土交通省北海道局水政課
<b>未発表</b>	大竹 剛	東京都北多摩南部建設事務所工事二課 野川流域連絡会事務局長

第一部テーマ みずとみどり研究会の30年

<b>進行</b>	菅谷 輝美	
<b>活動報告1</b>	菅谷 輝美	南沢緑地保全地域
<b>活動報告2</b>	佐山 公一	身近な水環境の全国一斉調査
<b>活動報告3</b>	普天間 明日香	石垣島からの報告
<b>活動報告4</b>	金子 博	山形からの報告
<b>コメント</b>	山道 省三	(NPO 法人多摩川センター 代表理事)

休憩

第二部テーマ 多摩の水と緑の保全回復ビジョン

<b>進行</b>	神谷 博	ビジョンについての説明、意見交換会
<b>閉会挨拶</b>	小倉 紀雄	みずとみどり研究会 初代代表 東京農工大学名誉教授

参加者記念写真撮影

